



幸手権現堂桜堤

■ 今月のコロナは

3月21日で「まん延防止等重点措置」が全面解除となりました。学生たちの卒業シーズンで、長いこと自粛を強いられた若者たちが最後の機会、ということで酒を飲み交わすシーンがテレビに映し出されていました。

一日の感染者数が減少して来たとはいえ、まだ全国で数万人もの感染が報告される中、ここで気を緩めることはできません。

東京都は解除後の1カ月を「リバウンド警戒期間」とし、引き続き注意を呼び掛けています。

事実、日ごとの推移を見ると感染者が増加してしまうときもあるようで、3回目のワクチン接種を済ませたとしても「マスク・手洗い・3密回避」といった今までの生活様式は続けなければならないでしょう。

長く続くコロナ禍はまだ終わりが見えないようです。

ところで、ロシアのウクライナ侵攻はいつまで続くのでしょうか。停戦交渉が行われてはいるが、街は破壊しつくされ、多くの死傷者がでているこの責任はだれがどのようにとっていくのでしょうか。

右欄のZOOM 会合報告では“Z”を使わず字形が似た“2”にしてささやかな抵抗を示しています。

■ 活動報告 3月22日「ZOOM 会合報告」

東京の桜は全国でも早く開花を迎えるようですが、3月27日(日)に東京の桜が満開になったとの報道がありました。今年の冬は寒い日が続き、桜の開花は遅れるかと思いきや、3月に入って暖かい日が続き、平年より4日早い満開を迎えたとのことです。(昨年比は5日遅れ)

しかし、会合当日は雪も混じる寒さでタイトルの、“季節到来”「花を愛でよう」にはほど遠い感じでした。会合の報告は以下のサイトをご確認ください。<http://jvc-senior.com/20220322online.pdf>



尚、2月に行った書面審議総会の返信ハガキに記入された、生誕地、故郷についてのアンケート結果もこの会合の中で報告するとともに、「私の故郷」に投稿のあった5人の記事紹介も行いました。それぞれはHPの「会員からのお便り」欄にアップされています。今後も皆様の「故郷紹介」投稿を期待しています。

■ 4月8日「花まつり（灌仏会）」



4月8日はお釈迦様の誕生を祝う「灌仏会」の日です。花御堂をつくり周囲を花で飾り、中央に立つお釈迦様に甘茶をかけてお祝いします。

明治に入って庶民の間ではお釈迦様の誕生日のお祝いを「花まつり」と呼ぶようになったといわれています。そしてこの「花まつり」に合わせて、子供たちの健全なる成長と厄病退散祈願を込めてお稚児パレードが行われるところも多いようです。

おおよそ、この頃に小学校の入学式が行われます。かつてはピカピカのランドセルを背負った子供たちが夢と希望に膨らんだ顔で、満開の桜の下を通過して校門に向かう姿がありました。現在、東京では桜の開花が早くなって、花びらは落ちてしまっているところも多いことと思います。しかし春は満開、周りに多くの花が咲き誇る中で「灌仏会」が執り行われます。



釈迦は、生まれてすぐに7歩歩いて、右手を上、左手を下にして「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」と言ったと伝えられています。この言葉は釈迦本人が言ったものではなく、後世の人たちが釈迦の徳を偲び、その教えを崇め奉るなかで、創られたものです。

これを独善的に「自分だけが唯一尊い」と捉える輩も世の中にはいるようで、周りほとんど迷惑をこうむることになってしまいます。要注意ですね。



■ トピックス：ロシアからマクドナルド撤退



1990年1月31日、かつてのソ連で西側文化の象徴とも言われたマクドナルド1号店がモスクワにオープンし、極寒のなかでハンバーガーを求める客が店の外に長蛇の列をなした、と報道されていました。

その年2月にモスクワ～キーウ（キエフ）に行く機会があり、雪が降る中でたまたまその光景を目にしました。当時、ソ連のゴルバチョフ大統領のペレストロイカ（改革・再建）、グラスノスチ（情報公開）で東西冷戦の雪解けが始まっていたころでした。

モスクワからキーウへの移動は夜行列車でしたが、ウクライナもロシアと同じソ連邦を構成する国の中なので国境というものはなく、朝目が覚めたらキーウについていたという状況でした。

東側の超大国であったソ連は1991年12月に崩壊し、ロシア、ウクライナ他、それぞれが独立国家となったわけですが、昔の栄光を取り戻したいと考える者がいるのは当然なのかもしれません。しかし、武力を用いての復帰が許されるはずがありません。

暴挙に対して西側諸国は様々な制裁を課しました。民間企業もそれに同調して事業を撤退あるいは一時停止措置をとっています。迷惑するのは客であった一般庶民ですが、為政者はそんなことは全く意に介さないようです。エネルギーをはじめ、様々な資源・物資の流通も疎外され世界中の混乱を招いています。

日本ではロシアからの“そば”輸入が滞り、値上げの話も出ているようですが、ロシアの人たちは再びマックで憩うことができるのでしょうか。（田代）

■ 事務局から

1. コロナのリバウンド警戒のため、大勢での会合開催は慎重にならざるを得ないところです。「集いの会」は企画推進中ですが、今しばらくお預け状態です。
2. JAMのサイトでも“NO WAR”を訴えています。次を覗いてみてください。 <https://www.jam-union.or.jp/>

事務局長 田代 周

私たちの仲間を国政に！ <https://murata-kyoko.com/profile/>

あなたの笑顔をみたいから

～ここからつくる、みんなの未来～

JAM代表 参議院議員候補予定者

村田きょうこ

JAMホームページからコピー

